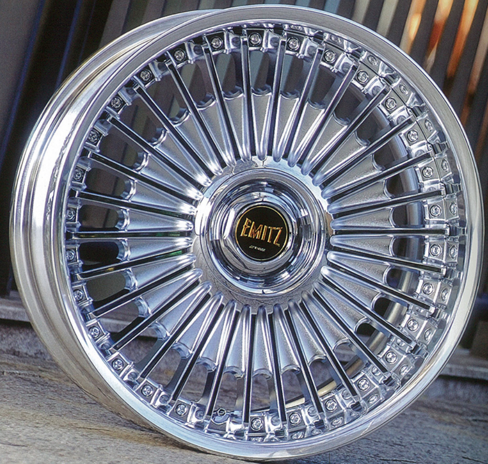


WORK

tel.06-6746-2859（西日本） tel.048-688-7555（東日本）
http://www.work-wheels.co.jp

US VIPシーンを震撼させる、2つの自信作

Text_Naoto Iwata Photo_Takatsugu Okuyama

EMITZ

19inch	7.5J～12.5J	8万1000円～10万8000円
20inch	8.0J～12.5J	9万1800円～11万7720円
21inch	8.5J～12.5J	11万160円～14万3640円

■COLOR VARIATION
□ブラックカットクリア
□クロームメッキ

装着車輌

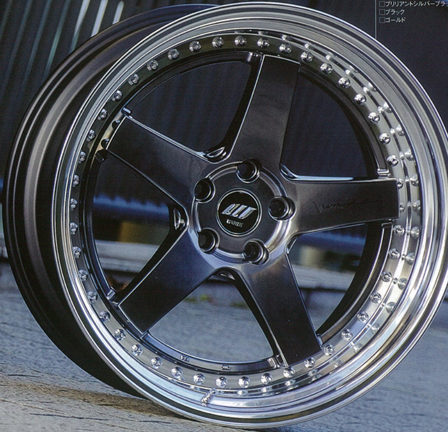
WORK ZISTANCE W5S
LS460［P27］

EMITZ
GS350［P24］

ZEAST ST1
LS430［P22］

VS-XX
GS350［P20］

WORK ZISTANCE W10M
LS460L［P16］



WORK ZISTANCE W5S

19inch	7.5J～13.0J	9万2340円～11万2320円
20inch	7.5J～13.5J	10万3140円～12万4740円
21inch	7.5J～12.0J	11万9340円～13万6080円

■COLOR VARIATION
□ブリリアントシルバーブラック
□ブラック
□ゴールド

もちろん自国にも数多くのホイールメーカーが存在し、鍛造3ピースのメッカとされているアメリカ。しかしUS VIPのレベルが上がるに連れ、「日本で売られているセダンだから、ホイールも日本製を履かせるべきだ」という風潮が広まりつつある。これまで数多くのセダン向けホイールを手がけてきたワークは、アメリカでの知名度も非常に高い。同社のホイールをセレクトした多くのオーナーたちから、デザインの美しさや精度の良さなどが高く評価されている。現に先日開催された東京オートサロンにブースを出展した際、アメリカからの来場者がかなり多かったという。今後のワークの動向に注目しているのは、日本のドレスアップ業界だけではないことが良く分かるエピソードである。

ワークは非常に多くのラインナップを用意しているが、イマドキのUS VIPにお勧めしたいのがジスタンスW5Sとイミッツの2モデル。まずジスタンスW5Sは、高級セダンをターゲットとした同シリーズの2作目として登場。アメリカでは少々変化球的なデザインが多いため、あえて王道の5本スポークを提案したいと考える同社の吉川サン。「日本のVIPスタイルを目指すなら、こういう王道のシンプルなデザインが一番マッチすると思います」。

もうひとつは90年代に一世を風靡し、フィンの本数を見直すなど細部の意匠を変えて復活したイミッツ。「ナットホールを隠したホイールは流行ではないですが、逆に言えば新鮮に映るのではないでしょうか」。

すでにこの2モデルを選んだUS VIPが続々デビュー。これからも注目を集めることは間違いない。

EMITZ

大きなオーナメントが輝く、伝統のクローズドナット。構造は3ピースから2ピースに変わり、インセットのバリエーションを拡充。LSなど最近のセダンにも対応させるべく、インチ数は19インチからとなる。

WORK ZISTANCE W5S

ディスクをアウターとインナーリムでサンドイッチした仕様（写真）、ディスク面が一番手前に来るオーバーヘッド仕様を用意。「同じデザインでも、見映えが大きく変わります」。センターは丸く落とし込む。